

[アゲハチョウの飼いかた]

Q.アゲハチョウの幼虫は何を食べるの？

→サンショウ、カラスザンショウ、ユズ、
ナツミカン、レモン、カラタチなど、
ミカン科が食草です。

ちょっと注意！

ミカン科の植物には
トゲがあるぞ。さら
ないよう要注意！

アゲハチョウの代表的な食草



Q.卵はどうやって産ませるの？

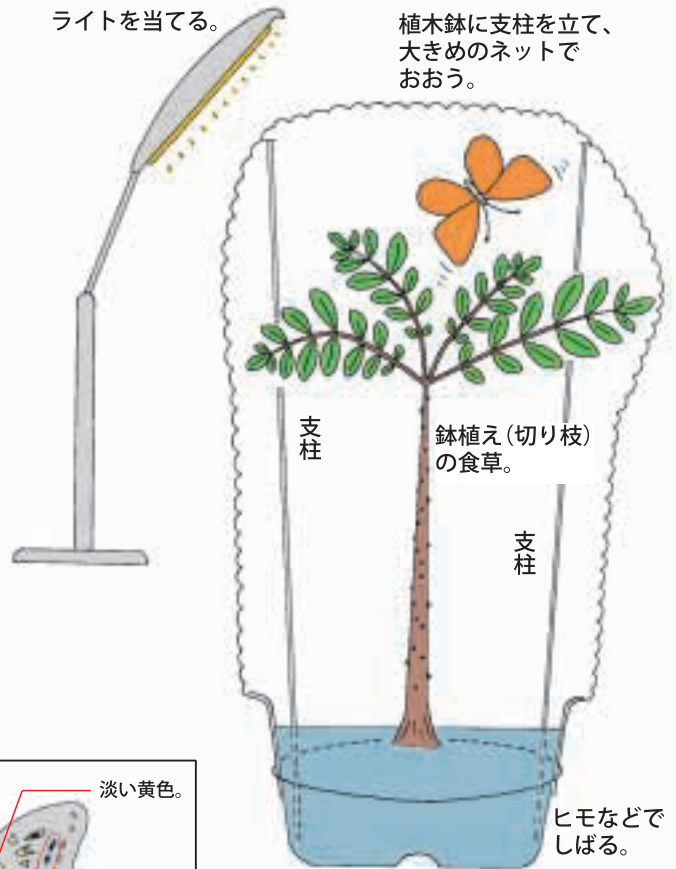
- ①食草の小さな鉢植え、または切り枝
を用意します。
- ②鉢に支柱を立て、食草全体にネット
をかぶせます。切り枝の場合は、水
差しごと土にうめます。
- ③中にメスのチョウを放し、ライトを
当てます。

ここがKey Point

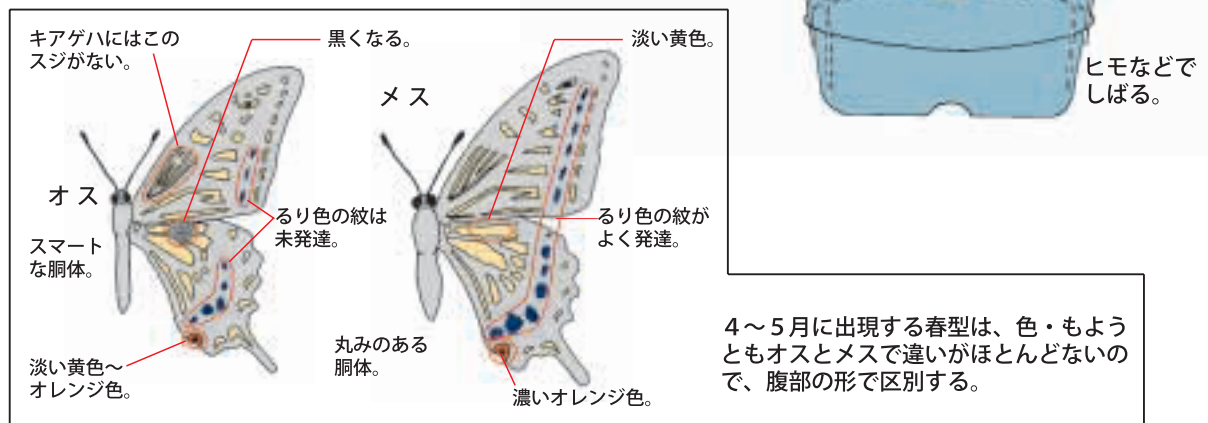
- ・自然光で産卵させる場合は、直射光はさ
ける。ライトを使う時は、30～60ワット
くらいの蛍光灯を利用する。
- ・メスのチョウを長生きさせるため、1日
に1回はエサを与える。エサは、ハチミ
ツ、ポカリスウェット、カルピスなどを、
水で5～10倍にうすめ、ティッシュにし
みこませて与える。チョウを手に持ち、
口ふんを針で伸ばし、それに止まらせ
ると、自分で吸い始める。

ライトを当てる。

植木鉢に支柱を立て、
大きめのネットで
おおおう。



アゲハチョウ(夏型)のオスとメスの違い

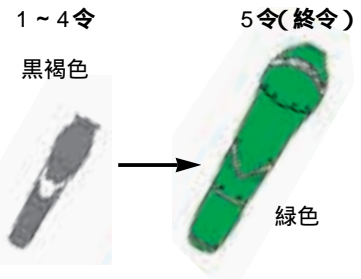


4～5月に出現する春型は、色・もよ
うともオスとメスで違いがほとんどない
ので、腹部の形で区別する。

Q.幼虫を上手に育てるには、 どうしたらいいの？

ふ化の前には卵が黒くなります。夏なら3～5日でふ化しますから、卵が黒く変色し始めたら、食草の用意をしましょう。幼虫の期間は、おおよそ20～30日くらいです。

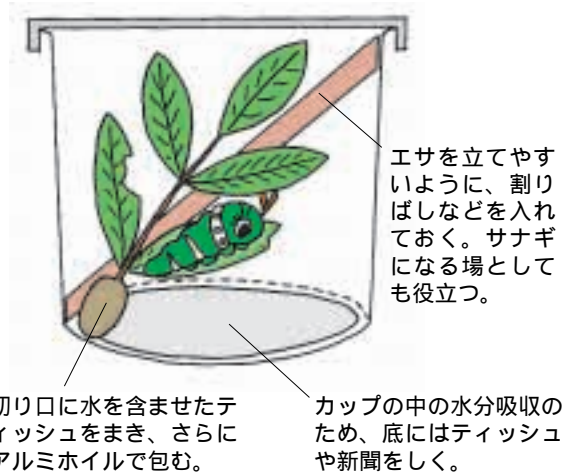
幼虫の変化



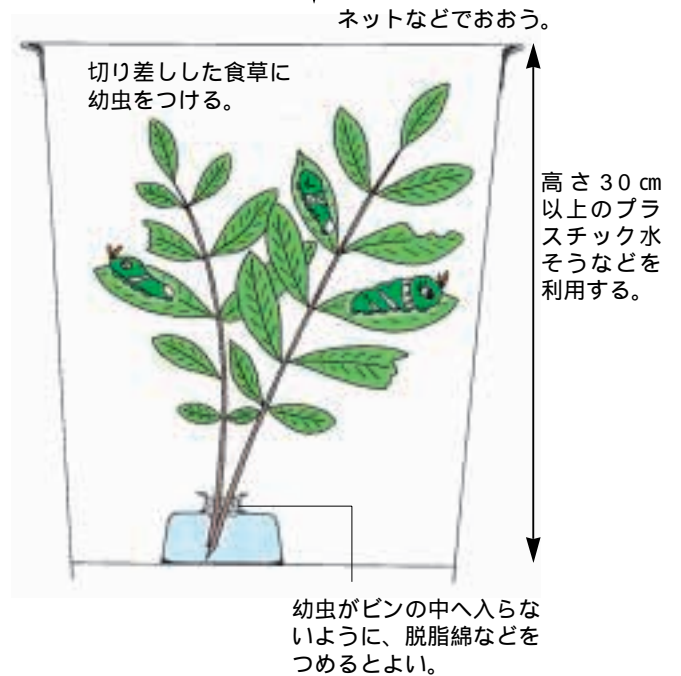
小さなカップを利用

プラスチック水そうを利用

ふ化

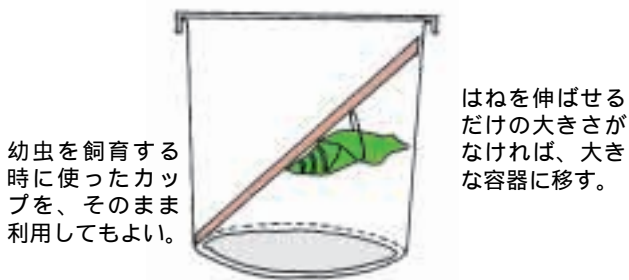


- ・幼虫は1つの容器に1～2頭ずつ入れる。
- ・食草を毎日交かする。
- ・フン掃除とカップ底の紙の交かも毎日行なう。



Q.アゲハチョウの冬ごしは どうするの？

アゲハチョウは、サナギで越冬します。冬の寒さを経験して、ようやく羽化しますから、サナギは軒下など、外気温の所で保管してください。



- ・サナギになる時は絶対さわらない。
- ・サナギは緑色と褐色の2種類あるが、どちらも生きている。夏なら10～14日で羽化する。

カラスザンショウとユズがあれば、こんなにアゲハ類が飼える！

日本には18種類のアゲハチョウ科がありますが、カラスザンショウとユズの2種類の食草を用意しておくだけで、次の8種類が飼育できます。

